

# ものづくり王国めざして ～未来を担う人材の育成～

# 若者4人にもものづくり大賞



ものづくり大賞を受賞した(左から)折田さん、三箇さん、鷹休さん、柿谷さん

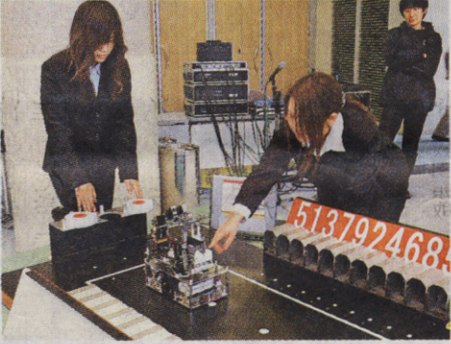
北陸職業能力開発大学校(北陸能開大)の「2008ポリテックビジョンin新川」はこのほど魚津市の新川文化ホールで開かれました。「ものづくり大賞」の発表会では、ものづくりに優れた業績を上げた四人の若者が表彰されました。記念講演や開発課題発表会、ものづくり体験フェスタ、北陸ピンゴロボット競技会などもあり、高校生や家族連れなど、大勢の来場者にもものづくりの楽しさや醍醐味を伝えました。北陸職業能力開発大学校主催、北日本新聞社共催。

## ポリテックビジョンin新川

### ■ 独創性あふれたアイデア

ものづくり大賞を受賞したのは、電子部品製造部門/折田匡史さん(シキノハイテック)、情報・通信部門/三箇正樹さん(日本ソフトテック)、金属製品製造部門/鷹休将樹さん(ビニフレーム工業)、木製品製造部門/柿谷藍さん(カキ)の四人。折田さんは「製品検査用電源の開発」をテーマに、半導体製品向けに6ch独立電源や多種のデジタル信号発生回路を含んだ製品検査用電源を手掛けました。開発のポイントは機器の小型化で、従来製品に比べて体積で42・3割、電圧変動で50割の削減に成功。発熱量抑制でも大きな成果を上げました。三箇さんは「配本トータル支援システムの構築」をテーマに、書籍・教材などの販売、配送、請求、集金を一括管理するシステムを開発し、顧客側の事務関連コストを一四割削減。鷹休さんは、強度を維持しながら柱の本数を少なくし、車の出し入れをしやすとした多機能型折板屋根アルミ製カーポートを開発。「取り付け工事の合理化・生産性の向上を実現した。大型のけたを二分割することアルミの押し出しが可能になった」と話します。柿谷さんは具体的な製品ではなく、ものづくり

北陸ピンゴロボット競技会で優勝した北陸能開大の「ルナ・セイバー」



木造建築士の資格を取得し、家具から住宅までトータルで提供する柿谷さん。富山市岩瀬地区の建物修復にもかかわるなど、今後の活躍が期待されています。大賞を受賞した四人は、大ホールのステージで製品開発のコンセプトや成果などを発表。「今後も時代のニーズをとらえたものづくりに取り組んでいきたい」と抱負を語りました。

に取り組む姿勢や活動が評価されて大賞を受賞しました。「KAKI」ブランドの家具製作に携わりながら